

1440

## 造形学研究

3単位（通信授業3単位）

田村裕教授、金子伸二教授、坂上桂子講師

## 授業の概要と目標

造形研究の多様な視点を把握し、各自の研究の立脚点を把握する視点を構築することを目的とする。様々な方法論を、歴史的に遡及して探索したうえで、その今日的な意味を検討する。授業では、研究のための基礎資料の収集と分析を行う。

## 課題の概要

## ○通信授業課題1～3

特定の主題に関する基本文献の探索と学説を把握する課題。

\* 課題については学習指導書『造形学研究 平成29年度』を必ず参照すること。

## 授業計画

## [通信授業]

教科書による。

- ・モダニズムを超えるために
- ・ヌードのへそ
- ・通俗造形論
- ・私的マンガ論
- ・ノート
- ・リズム都市・浅草
- ・「紙のうえの都市」フィールドノート
- ・20世紀デザイン運動の意味
- ・「装釘時代」について

## 成績評価の方法

レポートによる。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] 造形研究コース3年次必修科目の単位をすべて修得していること（「学生ハンドブック」p.049の特例を除く）。

[備考] 芸術文化学科造形研究コース4年次必修科目。

## 教材等

教科書：『造形学研究』（武蔵野美術大学出版局 2003年）

学習指導書：『造形学研究 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）